



2022年11月10日

各位

会社名 大阪油化工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 堀田 哲平
(コード: 4124 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役業務部長 島田 嘉人
(TEL. 072-861-5322)

3か年中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、3か年中期経営計画（2023年9月期～2025年9月期）を新たに策定いたしましたのでお知らせいたします。

当社は、化学物質のわずかな蒸発温度の差を利用して混合物から目的とする物質を分離・精製する「精密蒸留」を主な事業として行っており、創業以来培ってきた技術と経験をもとに、機能性化学品等の製造過程で材料の化学物質から不純物を取り除き純度を高めることで、顧客の最終製品の価値向上に貢献しております。

当社グループでは、対象となる原料を当社の蒸留装置を用いて精製し、安定した製品を提供するとともに、原料の選定、最適な蒸留方法、収集したデータの活用等の総合的な提案を行う「受託蒸留事業」、蒸留装置及びろ過装置を設計・販売し、実際の運転を行う際に技術支援を行う「プラント事業」を展開しております。

上記の更なる発展を図るために次の3つの重点施策を実行し、中長期的な企業価値の向上に努めてまいります。なお、定量目標値に関しましては、2025年9月期の売上高16.5億円、営業利益2.5億円としております。

- ①事業継続力の強化
- ②自社製品開発の推進
- ③品質性能の向上

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

(注) 本資料は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因等によって大きく異なる可能性があります。

以上



大阪油化工業株式会社

2023年9月期 – 2025年9月期 3か年中期経営計画



東証スタンダード
証券コード:4124

2022年11月10日

当社では、2021年11月11日付「3か年中期経営計画の策定に関するお知らせ」において、中期経営計画（2022年9月期～2024年9月期）を公表しておりますが、今般改めて**2023年9月期から始まる3か年中期経営計画**を策定しております。

なお、当社では、経営環境の変化等に柔軟に対応するため、原則として每期改定を行うローリング方式の中期経営計画を策定しております。

1

前年公表計画の振り返り

P.04

2

中期経営計画策定の前提

P.06

(大阪油化工業の強みとこれまで)

3

3か年中期経営計画

P.13

1

前年公表計画の振り返り

| 事業 | 計画項目 | 評価 | 進捗状況 |
|--------------------|--|----|---|
| 受託蒸留事業 (研究開発支援) | <ul style="list-style-type: none"> 機能性化学品を中心とした少量多品種への対応力強化 | ◎ | <ul style="list-style-type: none"> ファインケミカルを中心に案件引き合いが増加。 |
| 受託蒸留事業 (受託加工) | <ul style="list-style-type: none"> 高機能小型蒸留装置の導入 現設備の改修による各種能力の向上 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 高機能小型蒸留装置の開発を継続中。 |
| 受託蒸留事業 (共通) | <ul style="list-style-type: none"> 品質管理体制の強化 各種リスクにおける生産継続力の向上 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 新規蒸留装置の製作、周辺設備の更新について、概ね計画どおり進捗。 |
| プラント事業 | <ul style="list-style-type: none"> 自社オリジナル装置の開発 高性能小型化の推進 | △ | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機とした世界的な部品・材料不足による納期遅れあり。 自社開発装置の特許申請を完了。 |

(評価基準) 前年公表計画(2022/9期~2024/9期)の初年度進捗度合を、下記の達成状況で評価。

◎ : 順調 ○ : 概ね順調 △ : やや足踏み × : 停滞

2

中期経営計画策定の前提

(大阪油化工業の強みとこれまで)



社業を通じ、豊かな価値を創造し、
社会の発展に貢献する。



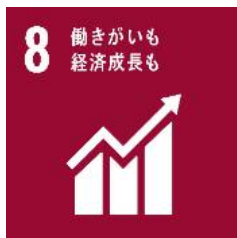
自社の蒸留等の精製技術を通して、社会の様々な課題の解決を目指し、世の中に貢献する取り組みを実践する。



地球環境にとって、
負荷低減につながる生産や開発を行う。



顧客にとって、
取引を継続したいサービスを提供する。

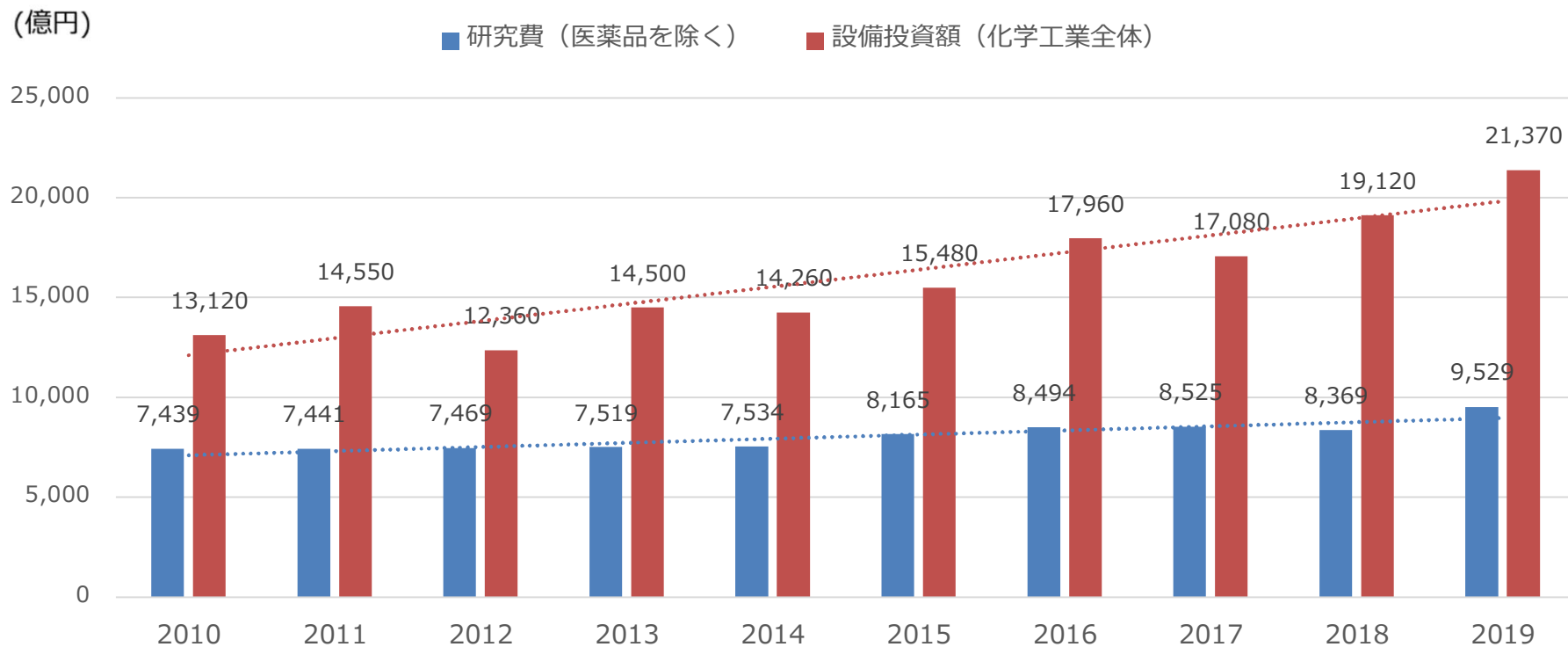


社員にとって、
働き続けたい職場とする。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

化学工業業界における研究費・設備投資額は堅調に推移。

国内の化学工業業界における研究費・設備投資額の推移



出典：一般社団法人日本化学工業協会「グラフでみる日本の化学工業」掲載データより自社作成

対応実績

1949年創業、70年以上にわたり化成品の高純度精製を専門に行う
「精密蒸留分野に特化したリーディングカンパニー」

これまでに、試験品を含め3,000品目以上の物質に対応、他社が断念したプロジェクトを請け負うことも多い「精密蒸留の駆け込み寺」

蒸留精製プロセスの受託にとどまらず、蒸留精製による研究開発の支援まで自社で対応可能（高品質・高純度・高付加価値）

取扱い分野

電子材料

液晶材料

光学材料

機械

医薬品

繊維

特殊素材

食品

農業

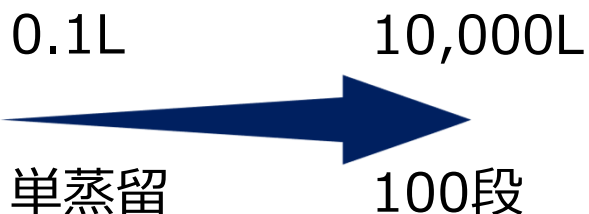
- ◆ 当社は、化学物質のわずかな蒸発温度の差を利用して、混合物から目的とする物質を分離・精製する「精密蒸留」を主な事業として行っております。

小スケール試験から生産まで一括サポート



研究、受託、設備導入まで一貫で支援

多種多様な装置ラインナップ



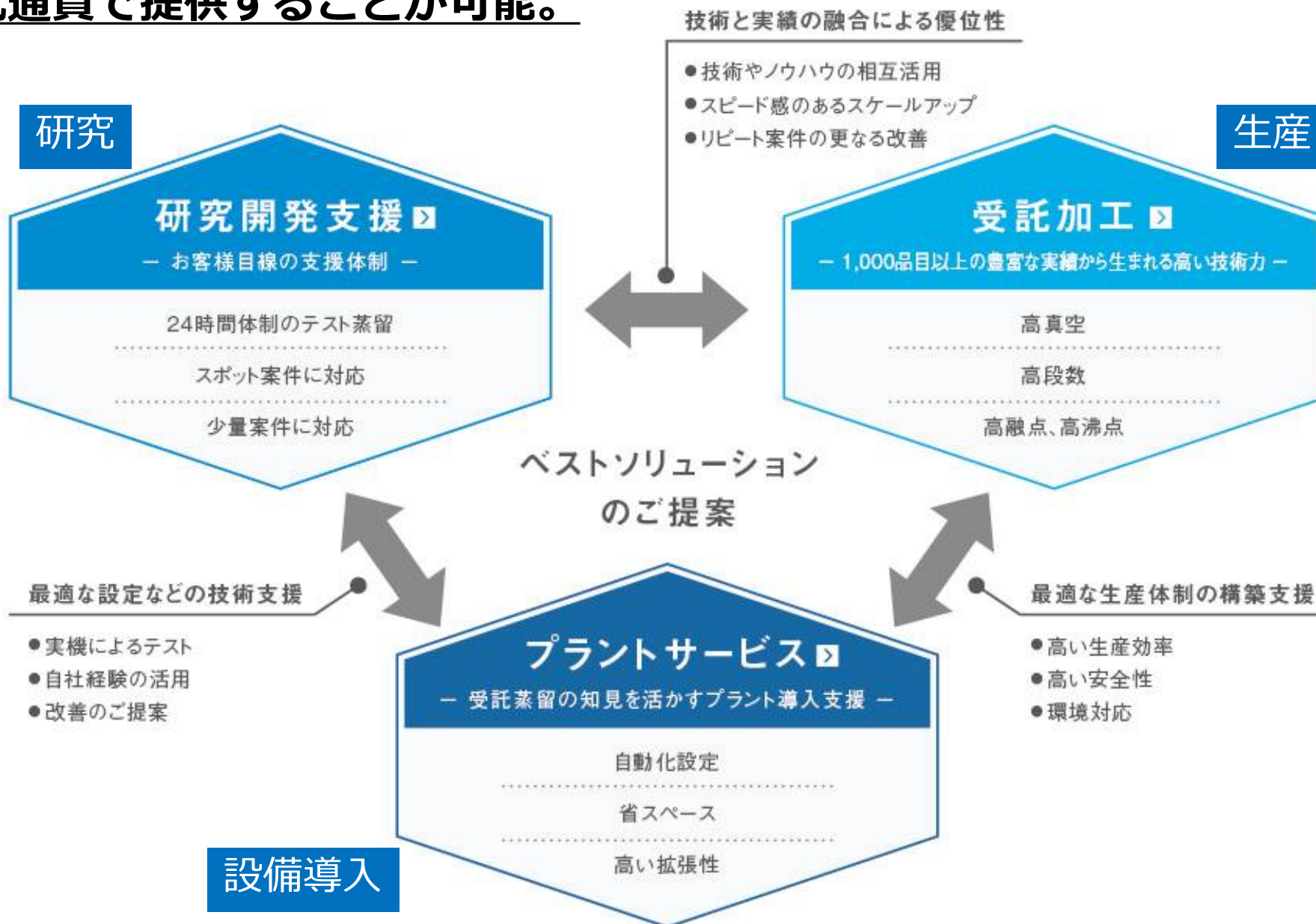
30基以上の設備を保有
素材：ガラス、テフロン、SUS

24時間体制



開発から生産までを土日祝祭日を含め
24時間体制で実施

当社では、精密蒸留分野において「研究・生産・設備導入」を一気通貫で提供することが可能。



3

3か年中期経営計画

連結売上高

1,650百万円

連結営業利益

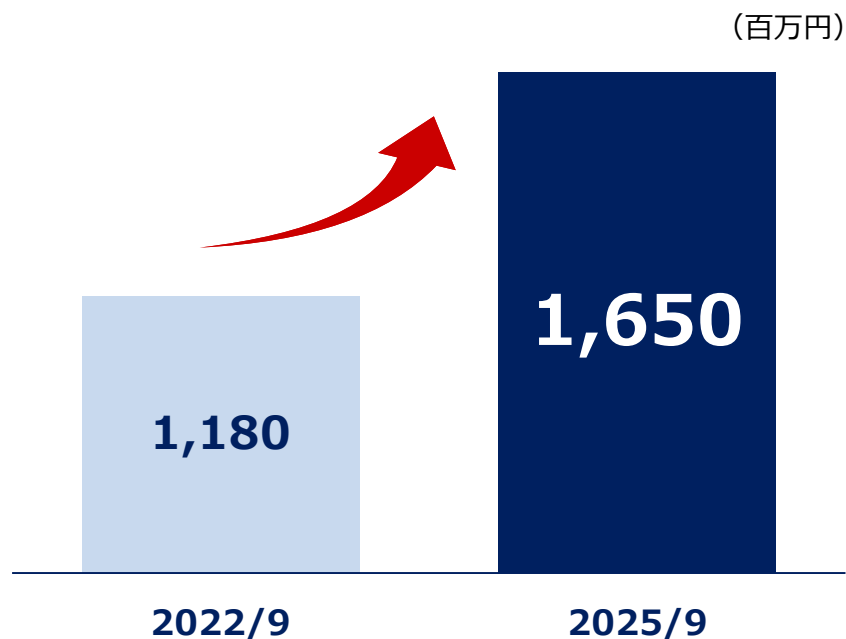
250百万円

配当性向

30%以上

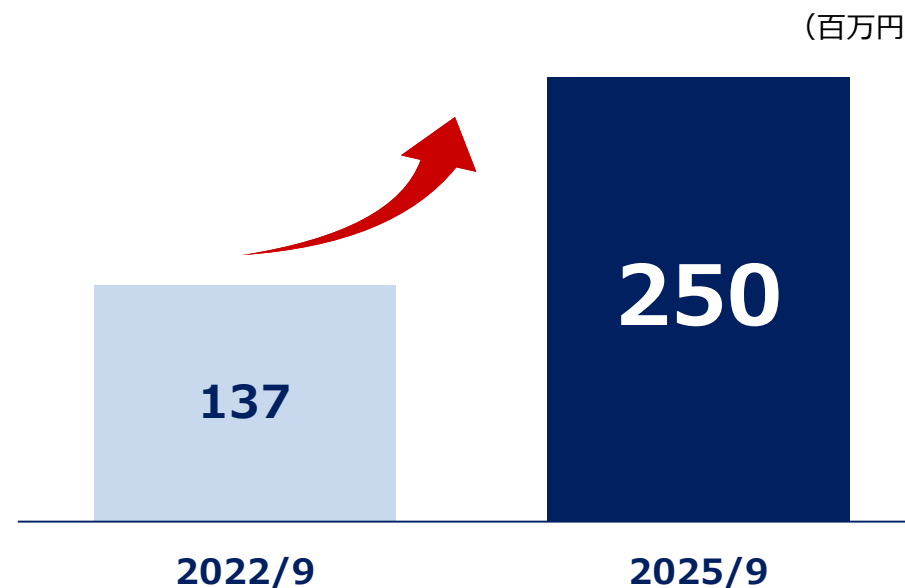
連結売上高目標値

2025年9月期までに
1,650百万円を目指す



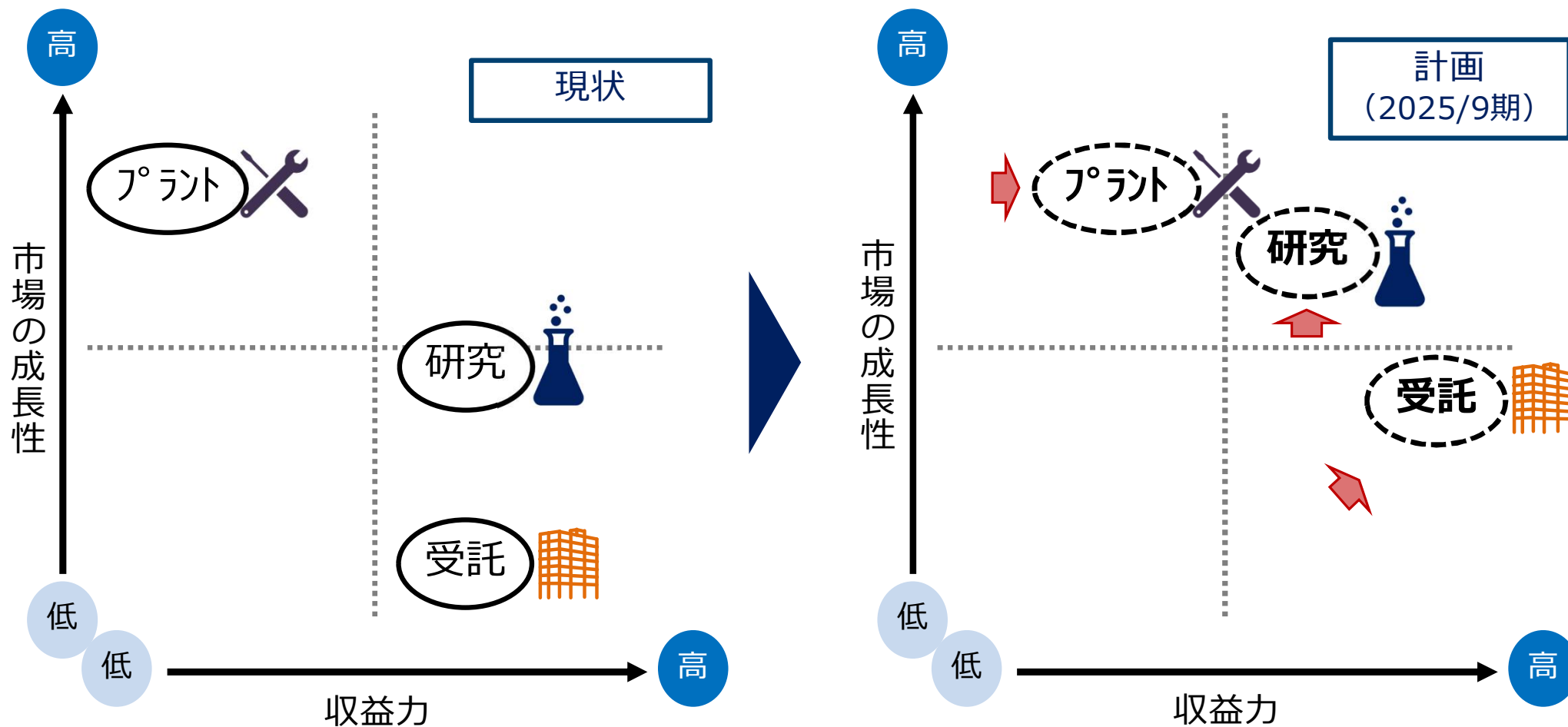
連結営業利益目標値

2025年9月期までに
250百万円を目指す



戦略

- ◆ プラント事業に注力し、事業の次の柱として成長させる。
- ◆ 研究・受託の付加価値を高め、競争力を伸ばす。



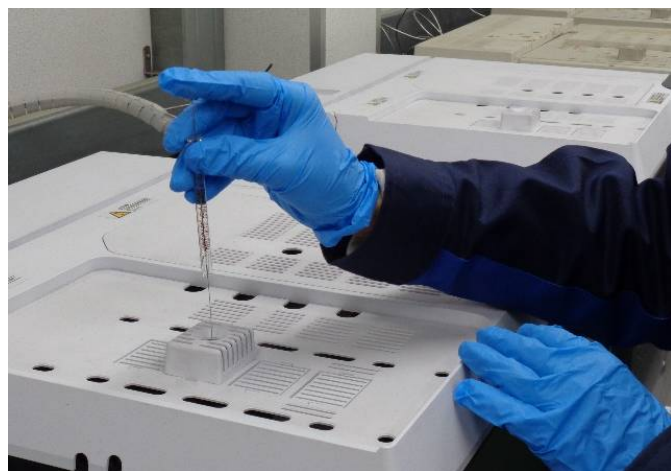
(※) プラント：プラント事業

研究：研究開発支援（受託蒸留事業）

受託：受託加工（受託蒸留事業）

3か年中期経営計画

(部門別売上高目標)



2025年9月期 売上高目標

(22/9実績) **218** ⇒ **300**百万円

アプローチ

- ◆ 機能化学品を中心とした少量多品種に応えることができる体制づくり

【当社が圧倒的なシェアを確保】



2025年9月期 売上高目標

(22/9実績) **894** ⇒ **950**百万円

アプローチ

- ◆ 高機能小型装置の導入
- ◆ 現設備の改修による各種能力の向上

【安定的な収益基盤】



2025年9月期 売上高目標

(22/9実績) **129** ⇒ **400**百万円

アプローチ

- ◆ 自社オリジナル装置の開発
- ◆ 高性能小型化の推進

【今後の成長ドライバーに位置付け】

設備投資

400百万円

- ◆ 自社設計・開発力の向上
- ◆ 保守・点検・分析業務の強化

M & A

1,000百万円

- ◆ 投資枠として、10億円を設定
- ◆ 対象候補は、精製に関連する会社

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が、本資料に記載している将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは修正が望ましい場合であっても、それを行う義務を負うものではありません。

技術と経験を武器にプロジェクトを完遂する、
精密蒸留専門化学メーカー

YUKA 大阪油化工業株式会社



〈お問い合わせ先〉

業務部 経営企画チーム

TEL : 072-861-5322

MAIL : cp@osaka-yuka.co.jp

URL :

<https://www.osakayuka.co.jp/>